



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日
東

上場会社名 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン 上場取引所
 コード番号 3319 URL <http://www.golfdigest.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 信也
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 酒井 敦史 (TEL) 03-5408-3188
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	8,435	13.8	384	—	385	—	180	—
26年12月期第2四半期	7,414	—	31	—	31	—	2	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 179百万円(—%) 26年12月期第2四半期 2百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	11.82	11.49
26年12月期第2四半期	0.20	0.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第2四半期	6,705	2,336	34.8	152.24
26年12月期	6,936	2,110	30.3	141.15

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,334百万円 26年12月期 2,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	2.50	2.50
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	9.8	700	57.8	660	51.0	310	71.7	20.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	16,547,000株	26年12月期	16,547,000株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	1,214,702株	26年12月期	1,633,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	15,255,015株	26年12月期2Q	14,829,012株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融証券取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年6月30日)における経営環境は、政府の経済政策や金融政策により、企業収益が向上し、雇用情勢に改善が見られる等、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、欧州債務問題や中国経済の先行きが予断を許さない状況の中、世界経済環境にリスクが残るとともに、消費税引き上げ後の停滞傾向からは脱しつつある個人消費も、物価上昇の懸念等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ゴルフ業界においては、ゴルフ人口の減少傾向に加えてゴルフプレー料金やゴルフ用品の販売単価、平均単価の下落傾向に回復は見られず、ゴルフ関連企業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

インターネットを取り巻く環境は、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末の普及が進むとともに、端末の多様化は加速し、Eコマース市場やモバイル端末向け広告市場、その他関連サービス市場等は引き続き大きな成長を続けております。またゴルフ市場における一般消費者の需要もこれらインターネット全般の普及及びモバイル端末の普及の影響を反映し、大きく変化し続けています。

このような環境下、当社グループでは、当期の基本方針「原点回帰 ゴルフの裾野拡大、気軽にゴルフを楽しめる環境づくり」を実現すべく、ゴルフ専門のIT企業ならではの強みを活かし、お客様データの分析力を活用してユーザーの利便性を高めるためのサービス強化等に取り組んでまいりました。普及の進むスマートフォン向けサービスの強化に引き続き注力するとともに、ビッグデータと最新のテクノロジーを駆使したマーケティングの強化にも積極的に取り組み、お客様の需要に合った利便性と付加価値の高いサービス提供を行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、8,435百万円(前年同期7,414百万円、前年同期比13.8%増)、営業利益384百万円(前年同期31百万円)、経常利益385百万円(前年同期31百万円)、四半期純利益180百万円(前年同期2百万円)となり、第2四半期としては過去最高の業績を記録しました。

主要セグメント別の業績は次のとおりであります。

『リテールビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高5,892百万円(前年同期比13.4%増)、売上総利益1,376百万円(前年同期比22.5%増)となりました。

引き続き取り組んできたスマートフォンの画面の見やすさ、サービスの使い勝手の向上等、お客様が真に望む体験をストレスなく実現するためのモバイル端末向けサービスの改善・強化が成果を發揮しました。また、取引データの分析によるお客様のニーズを的確に捉えた商材の確保と品揃え、販売促進活動等が奏功した結果、売上高は第1四半期に続いて前年実績を大幅に上回りました。コスト管理を徹底し収益性を維持した結果、売上総利益も同様に増加しています。

『ゴルフ場ビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高2,157百万円(前年同期比21.4%増)、売上総利益1,717百万円(前年同期比11.7%増)となりました。

ゴルフ場予約では、年初の天候不順の影響はあったものの、5月の送客人数が過去最高を記録したほか、最新テクノロジーを駆使した販促施策が奏功し、事前決済型予約サービスが好調に推移しました。また、商圏毎の特性に応じた個別の販促施策を行う等の取組みにより、業績は引き続き堅調に推移しました。

『メディアビジネス』

当第2四半期連結累計期間における当ビジネス部門の業績は、売上高344百万円(前年同期比12.2%減)、売上総利益281百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

広告受注は堅調に推移したものの、他の売上高が前年を下回り、メディアビジネス全体では減収減益となっておりますが、オリジナルコンテンツの強化及びモバイル端末対応強化などを行った結果、ニュースコンテンツへのアクセス数を大きく伸ばすことができました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ230百万円減少し、6,705百万円となりました。入金が進んだことにより売掛金が102百万円減少したこと、ソフトウェアの償却が進捗し147百万円減少したこと及び繰延税金資産等その他流動資産が136百万円減少したことが、現預金の増加129百万円を上回ったためです。

負債は前連結会計年度末に比べ、457百万円減少の4,368百万円となりました。支払に伴い買掛金が148百万円減少したこと、返済により借入金が275百万円減少したことによりです。

純資産は前連結会計年度末に比べ226百万円増加の2,336百万円となりました。利益剰余金が143百万円増加、新株予約権の行使により自己株式が57百万円減少、資本剰余金が29百万円増加したことが主な要因となります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して129百万円増加し832百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、550百万円の収入（前年同期は111百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益386百万円、減価償却費310百万円、売上債権の減少102百万円による資金の増加が、仕入債務の減少148百万円、法人税等の支払82百万円による資金の減少を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、194百万円の支出（前年同期は233百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出131百万円、敷金の差入による支出29百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは227百万円の支出（前年同期は344百万円の収入）となりました。これは主に、借入金の返済（短期及び長期）275百万円、配当金の支払36百万円による資金の減少が、新株予約権の行使に伴う自己株式売却による収入85百万円を上回ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、平成27年7月23日に「平成27年12月期第2四半期累計連結業績見込み及び通期連結業績予想の修正のお知らせ」において公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	702,602	832,136
売掛金	1,910,609	1,808,185
商品	1,885,881	1,837,203
仕掛品	6,584	8,683
貯蔵品	16,974	27,068
その他	537,389	401,100
貸倒引当金	△2,439	△2,267
流動資産合計	5,057,602	4,912,111
固定資産		
有形固定資産	285,251	294,188
無形固定資産		
のれん	2,612	—
ソフトウェア	1,087,840	940,438
その他	178,561	177,562
無形固定資産合計	1,269,014	1,118,000
投資その他の資産		
その他	328,198	385,460
貸倒引当金	△4,055	△4,487
投資その他の資産合計	324,143	380,973
固定資産合計	1,878,410	1,793,162
資産合計	6,936,012	6,705,274
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,275,310	1,126,826
短期借入金	2,000,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	332,700	257,600
未払法人税等	90,357	91,615
賞与引当金	22,000	—
ポイント引当金	159,628	151,743
株主優待引当金	8,708	9,800
その他	882,057	864,039
流動負債合計	4,770,762	4,301,625
固定負債		
役員退職慰労引当金	40,750	47,248
資産除去債務	9,703	9,762
その他	4,739	9,920
固定負債合計	55,193	66,930
負債合計	4,825,955	4,368,556

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,491	833,491
資本剰余金	800,731	830,484
利益剰余金	691,318	834,368
自己株式	△222,935	△165,758
株主資本合計	2,102,605	2,332,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,397	1,562
その他の包括利益累計額合計	2,397	1,562
新株予約権	5,054	2,571
純資産合計	2,110,057	2,336,718
負債純資産合計	6,936,012	6,705,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,414,862	8,435,930
売上原価	4,413,981	5,044,762
売上総利益	3,000,880	3,391,168
販売費及び一般管理費	2,969,751	3,006,311
営業利益	31,128	384,856
営業外収益		
受取利息	80	97
受取配当金	6	1,094
不動産賃貸料	6,741	6,661
その他	3,070	2,943
営業外収益合計	9,898	10,797
営業外費用		
支払利息	7,836	4,869
支払手数料	20	4,377
その他	1,178	1,110
営業外費用合計	9,035	10,357
経常利益	31,991	385,296
特別利益		
新株予約権戻入益	214	1,447
その他	14	—
特別利益合計	229	1,447
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	4,934	—
その他	680	—
特別損失合計	5,614	—
税金等調整前四半期純利益	26,607	386,743
法人税、住民税及び事業税	7,251	82,030
法人税等調整額	16,388	124,380
法人税等合計	23,639	206,411
少数株主損益調整前四半期純利益	2,967	180,332
四半期純利益	2,967	180,332

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,967	180,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△835
繰延ヘッジ損益	△743	—
その他の包括利益合計	△796	△835
四半期包括利益	2,171	179,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,171	179,497

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,607	386,743
減価償却費	313,670	310,745
のれん償却額	5,225	2,612
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,088	259
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,400	△22,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,753	6,498
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△4,501	△7,884
株主優待引当金の増減額(△は減少)	6,500	1,091
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	4,919	—
受取利息及び受取配当金	△86	△1,191
支払利息	7,836	4,869
売上債権の増減額(△は増加)	△318,163	102,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,470	36,484
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,776	△148,483
その他の流動資産の増減額(△は増加)	19,605	13,717
その他の流動負債の増減額(△は減少)	145,808	△46,368
その他	△5,423	△4,952
小計	143,014	634,564
利息及び配当金の受取額	86	1,191
利息の支払額	△7,513	△4,771
法人税等の支払額	△24,046	△82,560
法人税等の還付額	—	2,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,541	550,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,824	△8,239
無形固定資産の取得による支出	△185,715	△131,384
投資有価証券の取得による支出	△20,350	△14,403
敷金の差入による支出	△10,808	△29,745
貸付金の回収による収入	507	428
その他	△24	△10,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233,215	△194,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△225,600	△75,100
リース債務の返済による支出	△31,924	△1,056
配当金の支払額	△12	△36,751
自己株式の売却による収入	1,537	85,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	344,000	△227,013
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	222,325	129,533
現金及び現金同等物の期首残高	494,464	702,602
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	17,016	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	733,806	832,136

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。